

第2章 公共施設等の状況（全体）

第1節 保有状況および利用状況（土地及び公共施設）

2. 1. 1 用途分類毎の保有状況

羽幌町が保有する町有地は平成25年度末（2014年3月）時点で約1,500万㎡であり、その内訳は表2. 1. 1に示すとおりです。

一方、公共施設は505棟保有しており、延床面積の合計は、約14万㎡です。その内訳は表2. 1. 2および図2. 1. 1に示すとおりです。公共施設の延床面積割合が最も高い施設が公営住宅であり、全体の22.9%を占めます。次に割合の高い施設が学校施設であり、全体の17.9%、その次に産業施設と解体予定施設が同程度で、全体の約14%を占めます。

表2. 1. 1 土地の保有状況

区 分		土 地 (地 積)		
		行政財産(㎡)	普通財産(㎡)	計(㎡)
本 庁 舎	a	13,076		13,076
消 防 施 設	b	7,851		7,851
学 校	c	209,040		209,040
公 営 住 宅	d	88,076		88,076
ス ポ ー ツ 公 園	e	266,451		266,451
そ の 他 の 施 設	f	707,435	88,148	795,583
教 ・ 職 員 住 宅	g		27,852	27,852
山 林	h	2,832,682	4,293,161	7,125,843
田 ・ 畑	i	1,233,583	4,541	1,238,124
雑 種 地	j	239,156	651,768	890,924
原 野	k	127,926	678,401	806,327
川 成 ・ 溜 池 ・ 沼	l		145,433	145,433
宅 地	m	26,208	378,756	404,964
そ の 他	n	2,431,063	970,365	3,401,428
合 計		8,182,547	7,238,425	15,420,972

出典：「羽幌町決算書」（平成25年度）より

表 2. 1. 2 施設分類毎の建物棟数と延床面積の状況

No	大分類	中分類	建物棟数	延床面積(㎡)	割合
1	コミュニティ施設	集会施設	25	2,878	2.0%
2	社会教育施設	社会教育施設	2	3,980	2.8%
		文化施設	7	2,577	1.8%
3	体育施設	スポーツ施設	7	5,454	3.9%
4	公園施設	公園施設	8	520	0.4%
5	学校施設	学校施設	23	19,674	14.0%
		教職員住宅	67	4,459	3.2%
		その他教育施設	4	997	0.7%
6	福祉施設	保育所	2	550	0.4%
		老人福祉施設	13	7,193	5.1%
		その他福祉施設	3	1,413	1.0%
7	産業施設	農業系施設	6	798	0.6%
		水産系施設	3	1,403	1.0%
		畜産系施設	4	2,220	1.6%
		観光施設	8	8,094	5.8%
		港湾施設	5	1,344	1.0%
		交通施設	7	69	0.0%
		その他産業施設	12	6,378	4.5%
8	行政施設	庁舎	8	5,570	4.0%
		職員住宅	11	1,314	0.9%
		環境衛生施設	7	419	0.3%
		その他行政施設	25	7,536	5.4%
9	公営住宅	公営住宅	151	32,283	22.9%
10	上下水道施設	上下水道施設	15	3,208	2.3%
-	解体予定施設	解体予定	82	20,379	14.5%
合計			505	140,711	100%

出典：「羽幌町公共施設一覧」より

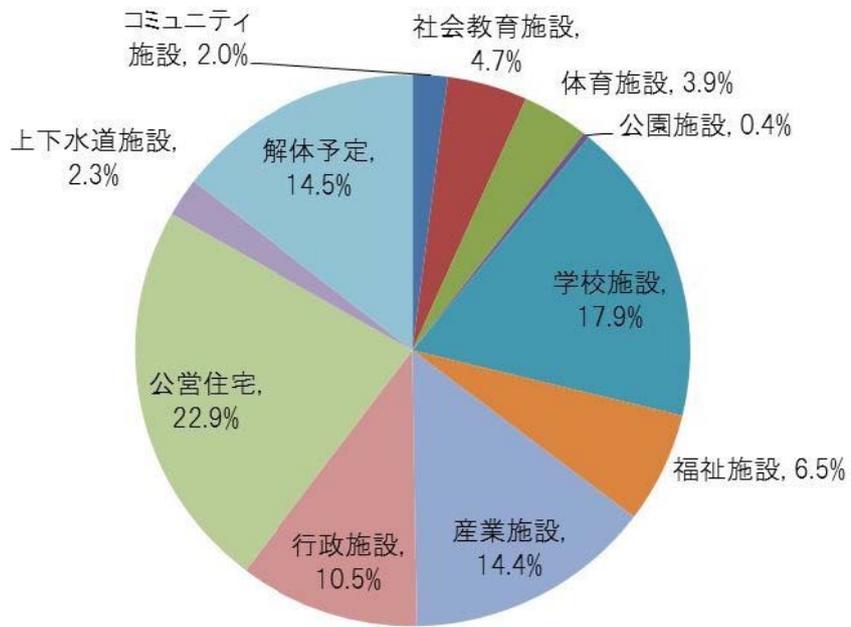


図 2. 1. 1 用途分類毎の延床面積の割合（公共施設）
出典：「羽幌町公共施設一覧」より

2. 1. 2 住民 1 人当たり延床面積

一般的に市区町村の人口と公共施設延床面積は比例関係にあります。人口が同等規模の市区町村の公共施設延床面積を道内と道外で比較した場合、道内の方が多い傾向にあります。

羽幌町の住民 1 人当たりの公共施設延床面積は約 18.4 m²/人となっています。これは東洋大学 PPP 研究センターが公表している全国平均 3.42 m²/人の 5 倍以上です。また同公表データによる道内 71 市町村⁵平均 12.86 m²/人の約 1.4 倍となります。人口が同等規模の他市町村（道内）と比較すると、羽幌町は離島を有していることもあり、他市町村よりも比較的多くの公共施設を保有していることが分かります。

また市街と離島それぞれの 1 人当たり延床面積を見てみると、特に離島において延床面積が多いことが分かります。

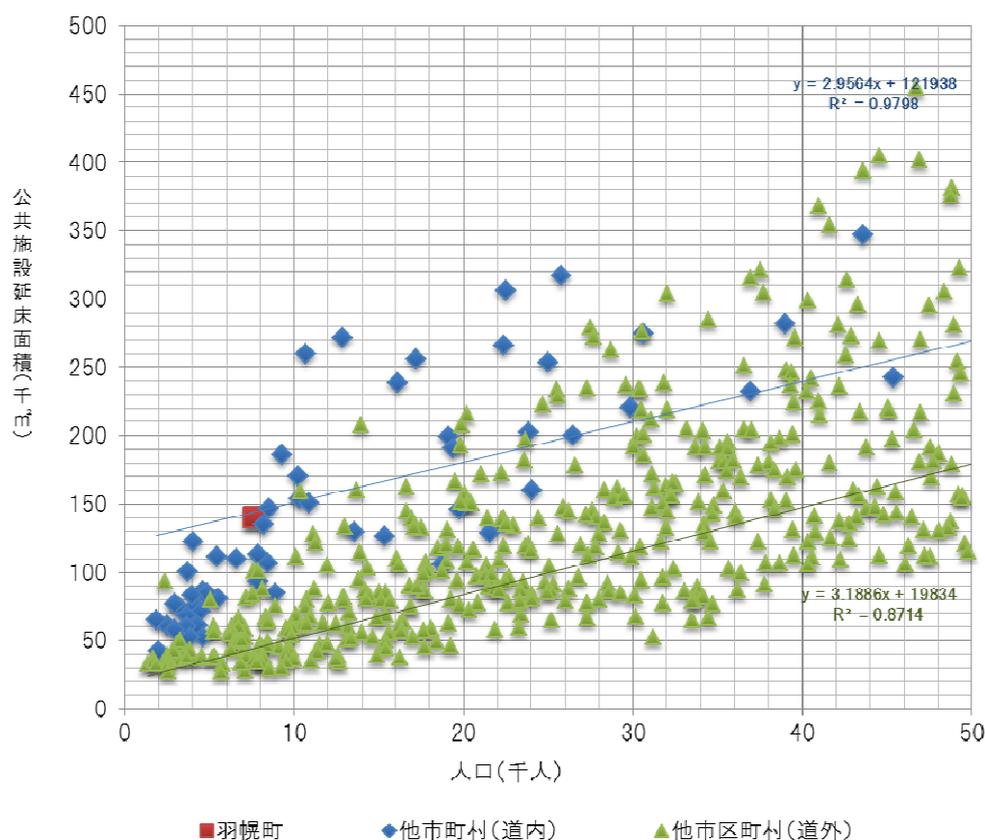


図 2. 1. 2 人口と公共施設延床面積の関係

出典：「全国自治体公共施設延床面積データ」東洋大学 PPP 研究センター（2012 年 1 月 11 日）を加工して作成

⁵占冠村については 1 人当たり延床面積が 153.95m²/人と突出しているため平均から除外しています。

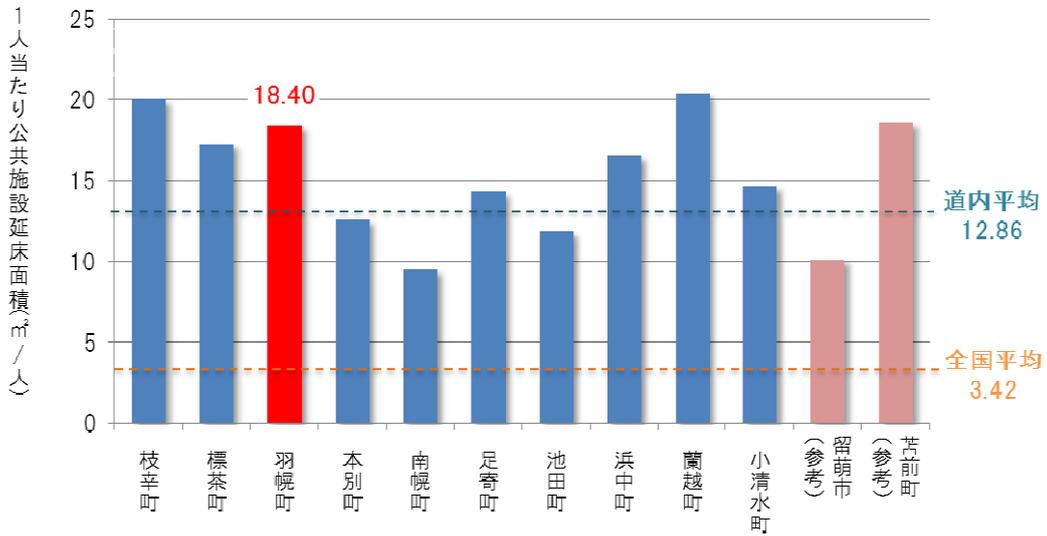


図 2. 1. 3 道内人口 5 千～1 万人規模市町村の 1 人当たり公共施設延床面積の比較
 出典：「全国自治体公共施設延床面積データ」東洋大学 PPP 研究センター（2012 年 1 月 11 日）を加工して作成
 （羽幌町は平成 26 年 3 月末時点の人口と施設面積で算出しているためデータ期間は他市町村と一致しません）

表 2. 1. 3 地域別 1 人当たり公共施設延床面積

地域	人口 (人)	延床面積 (m ²)	1人当たり公共施設延床面積 (m ² /人)
市街	7,065	121,301	17.17
天売	348	8,781	25.23
焼尻	235	10,629	45.23
総計	7,648	140,711	18.40

2. 1. 3 主な利用施設の利用状況とコスト状況

(1) コミュニティ施設

羽幌町のコミュニティ施設の利用状況とコスト状況は、図 2. 1. 4 のとおりです。もっとも利用者が多い施設は、栄町コミュニティセンターの1,308人であり、2番目に多い施設は南町集会所の1,210人となっています。施設の主な利用目的としては、町内会の役員会や行事等での利用と、老人クラブでの利用が多い状況です。ただ大半の施設が稼働率 20%を下回り、あまり利用されていない状況であるため、今後利用方法の見直しや施設の複合化等を検討していく必要があります。

一方、コミュニティ施設の維持に要するコストの79%が光熱水費であり、歳出に占める一般財源の割合は100%のため、施設の維持に要するコストのすべてが税金による支出です。

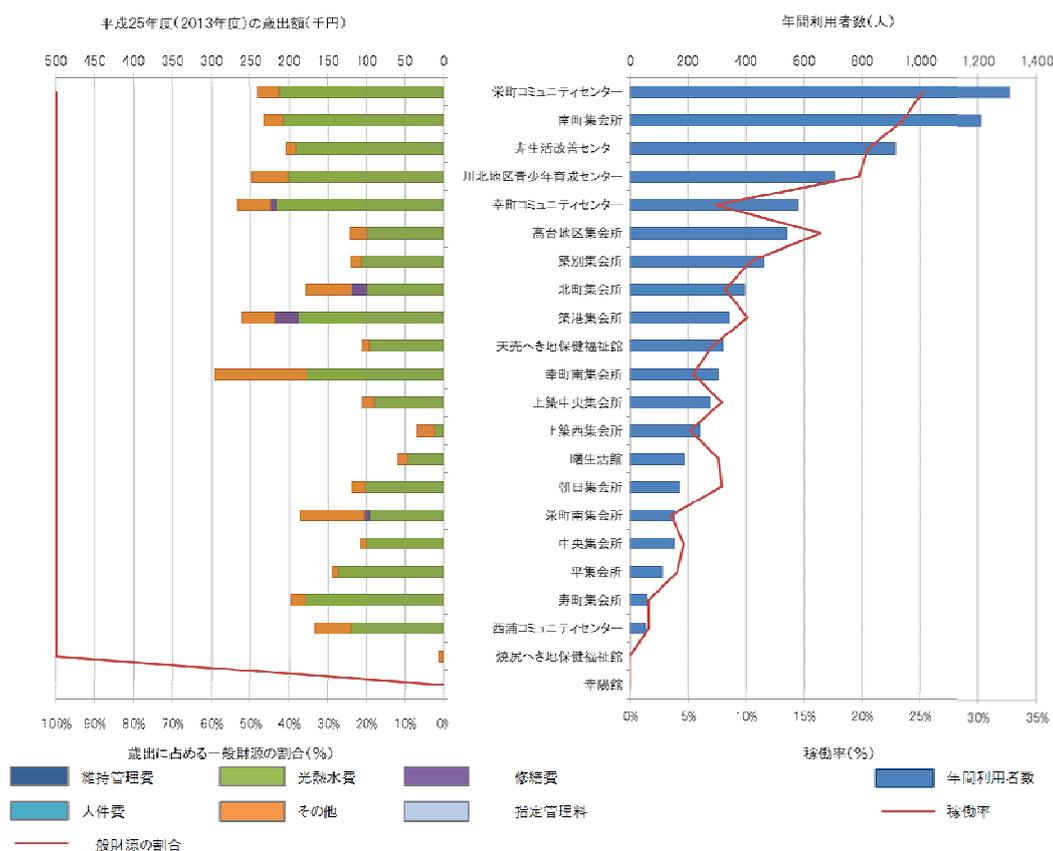


図 2. 1. 4 コミュニティ施設の利用状況とコスト状況

(2) 主な福祉施設

羽幌町の主な福祉施設の利用状況とコスト状況は、図 2. 1. 5 のとおりです。集会所として利用されている福祉施設の利用状況は、市街中心部に位置する羽幌町老人憩の家や老人福祉センターの稼働率は比較的高いものの、市街郊外や離島に位置する築別老人寿の家、中央老人寿の家、天売老人の家等は低利用であり見直しが必要な状況です。

羽幌町デイサービスセンターと天売・焼尻高齢者支援センターは介護予防や地域支援事業等に利用されており、平成 29 年(2017 年)4 月以降は介護給付対象の見直しにより、地域支援事業の更なる充実が必要となるため利用増が見込まれています。

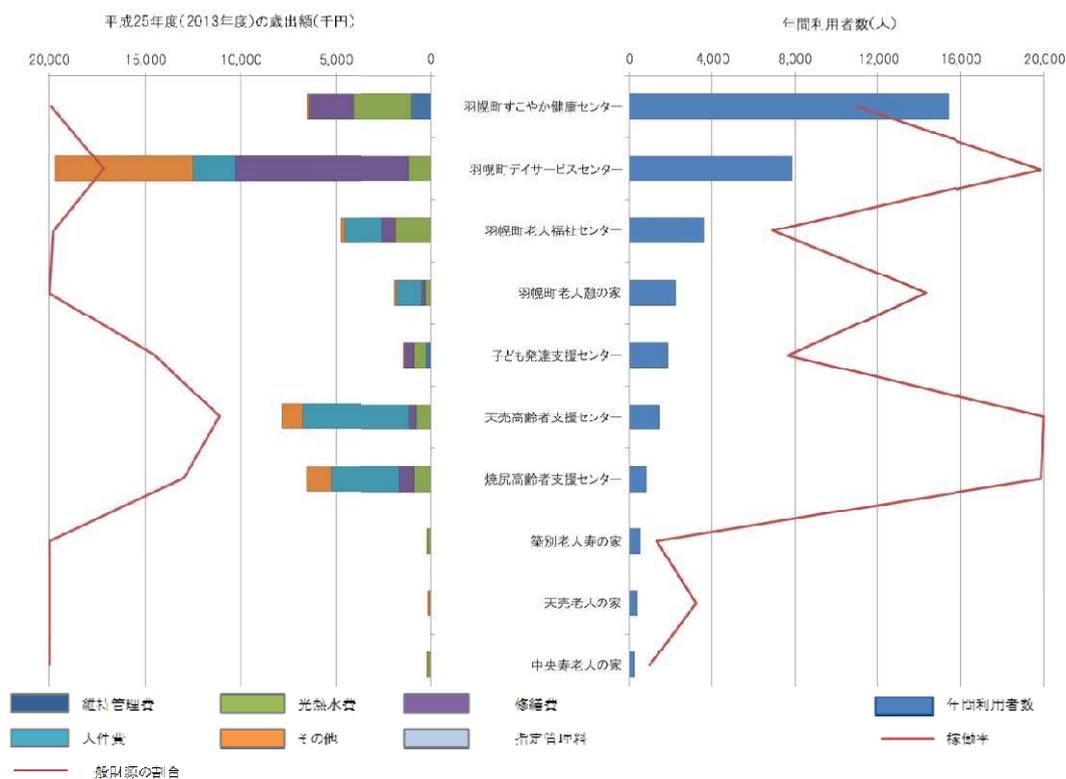


図 2. 1. 5 福祉施設の利用状況とコスト状況

(3) 他の住民利用施設（社会教育・体育・公園・産業・行政）

他の住民利用施設では、サンセットプラザはぼろの年間利用者数が 84,458 人と最も多い状況です。勤労者研修センターや天売・焼尻総合研修センターは利用者数・稼働率ともに低い状況のため、今後利用方法の見直しや施設の複合化等を検討していく必要があります。また焼尻郷土館は観光施設として定着していますが、更なる観光資源の活用等により利用者を増やす取組みが必要です。

一方、施設の維持に要するコストは総額で年間 1.5 億円程度であり、利用者の多い施設については比較的费用が大きくなっているものの、その他の施設については、必要最小限の経費で運営している状況となっております。

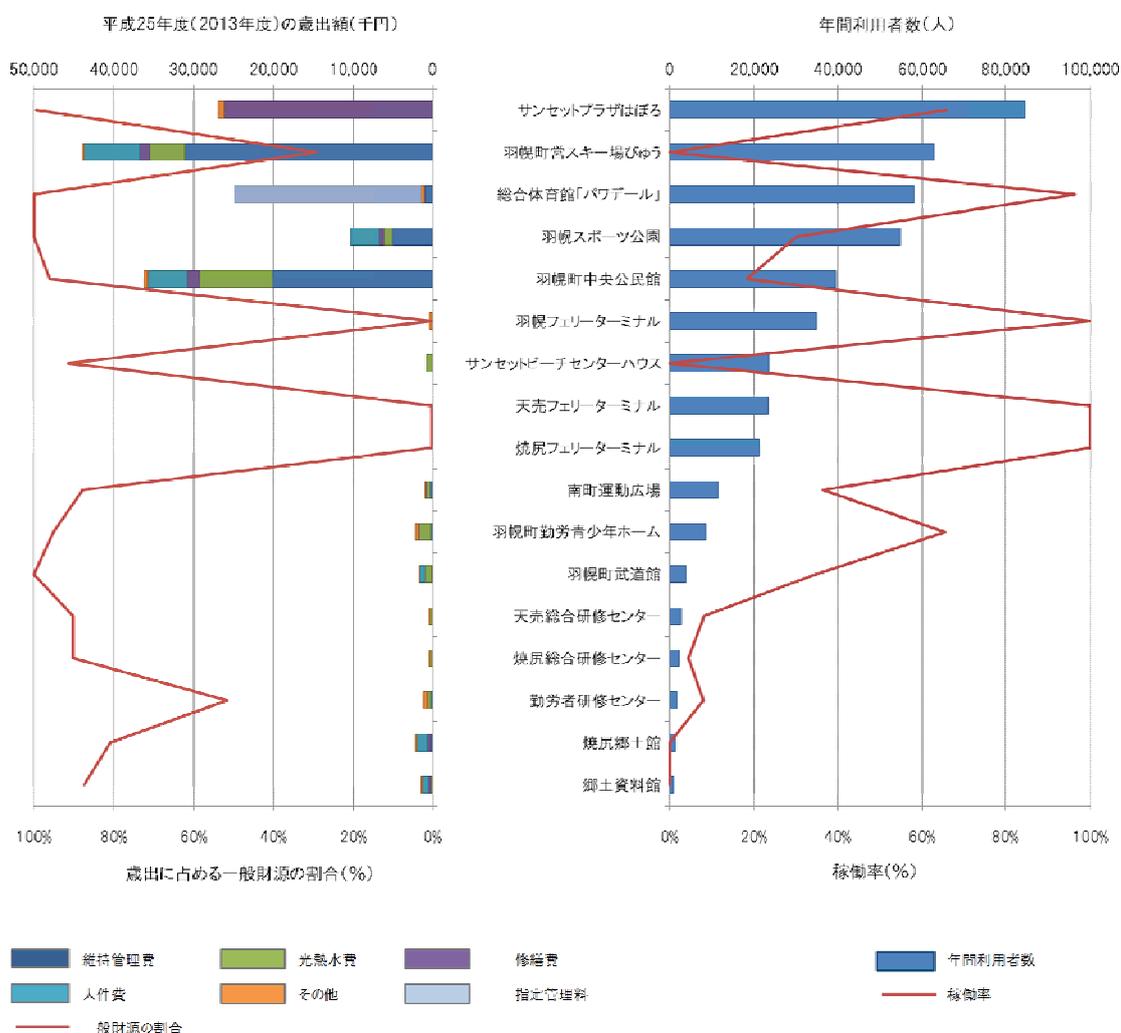


図 2. 1. 6 他の住民利用施設の利用状況とコスト状況

2. 1. 4 多機能施設⁶のスペース利用状況

(1) 社会教育・体育・公園施設

中央公民館は、大小ホールや研修室等全部で14の貸室スペースがあります。これらの貸室スペースの稼働率は総じて低い状況であるため、他コミュニティ施設の機能集約等により、利用者を増やす取組みが必要です。体育・公園施設には、総合体育館の一部で稼働率が高くなっていますが、その他の施設においては比較的低い稼働率となっています。

表 2. 1. 4 社会教育・体育・公園施設

施設番号	1020	1026	1027	1030
大分類	社会教育施設	体育施設	体育施設	公園施設
中分類	社会教育施設	スポーツ施設	スポーツ施設	公園施設
施設名	羽幌町中央公民館	総合体育館「パワデール」	南町運動広場	羽幌スポーツ公園
所管部課	社会教育課	社会教育課	社会教育課	産業課
主な利用者層	町内の団体や個人が利用	町内の団体や個人が利用	町内の団体や個人が利用	町内の団体や個人が利用
機能①	大ホール	アリーナ	南町運動広場	野球場A
機能①_面積	450㎡	1,689㎡	11,971㎡	15,670㎡
機能①_稼働率	23%	100%	45%	31%
機能②	大ホールステージ	プレイルーム	南町テニスコート	野球場B
機能②_面積	303㎡	41㎡	8,637㎡	19,730㎡
機能②_稼働率	4%	27%	26%	17%
機能③	展示ホール	会議室	ゲートボール場	陸上競技場
機能③_面積	44㎡	42㎡	3,128㎡	23,400㎡
機能③_稼働率	1%	12%	35%	29%
機能④	第1研修室	研修室		サッカー場
機能④_面積	62㎡	58㎡		11,210㎡
機能④_稼働率	27%	87%		21%
機能⑤	第2研修室	体力測定室		パークゴルフ場
機能⑤_面積	41㎡	58㎡		25,400㎡
機能⑤_稼働率	23%	92%		45%
機能⑥	陶芸実習室	トレーニング室		
機能⑥_面積	57㎡	99㎡		
機能⑥_稼働率	20%	100%		
機能⑦	小ホール	ランニングコース		
機能⑦_面積	221㎡	227㎡		
機能⑦_稼働率	42%	100%		
機能⑧	会議室			
機能⑧_面積	94㎡			
機能⑧_稼働率	16%			
機能⑨	調理実習室			
機能⑨_面積	58㎡			
機能⑨_稼働率	4%			
機能⑩	視聴覚教室			
機能⑩_面積	64㎡			
機能⑩_稼働率	4%			
機能⑪	和室			
機能⑪_面積	76㎡			
機能⑪_稼働率	22%			
機能⑫	休養室			
機能⑫_面積	14㎡			
機能⑫_稼働率	7%			
機能⑬	相談室			
機能⑬_面積	58㎡			
機能⑬_稼働率	5%			
機能⑭	1階調理室			
機能⑭_面積	20㎡			
機能⑭_稼働率	6%			

⁶会議室やホールなど複数の機能を有する公共施設を示します。

(2) 産業・行政施設

産業施設のサンセットプラザはぼろは、客室・温泉施設の他にも宴会場や会議室・レストラン等があります。客室・温泉施設の稼働率は高い状況ですが、宴会場・会議室・レストランの稼働率は50%を下回っており、他の貸室施設等との複合的な利用ができないか検討していく必要があります。離島のコミュニティ施設である天売・焼尻総合研修センターには、体育集会室や和室・調理室・歯科診療室などの機能がありますが、総じて稼働率が低い状況であるため用途や機能の見直しが必要です。

表 2. 1. 5 産業・行政施設

施設番号	1060	1073	1137	1162
大分類	産業施設	産業施設	行政施設	行政施設
中分類	観光施設	その他産業施設	その他行政施設	その他行政施設
施設名	サンセットプラザはぼろ	羽幌町勤労青少年ホーム	天売総合研修センター	焼尻総合研修センター
所管部課	産業課	産業課	総務課	総務課
主な利用者層	住民および観光客等が利用	町内の団体や個人が利用	島民が利用	島民が利用
機能①	客室	大ホール	体育集会室	大広間
機能①_面積	609㎡	711㎡	124㎡	128㎡
	75%	65%	9%	5%
機能②	宴会場・会議室	レクリエーションホール(社会福祉協議会事務所)	和室	和室
機能②_面積	785㎡	155㎡	42㎡	30㎡
	40%	100%	4%	2%
機能③	温泉施設	談話室	調理室	体育集会室
機能③_面積	450㎡	57㎡	33㎡	127㎡
	100%	8%	17%	6%
機能④	事務室	娯楽室	歯科診療室	調理室
機能④_面積	81㎡	27㎡	23㎡	35㎡
	100%	1%	1%	4%
機能⑤	レストラン	事務室(高齢者事業団)		歯科診療室
機能⑤_面積	114㎡	23㎡		29㎡
	35%	100%		0%
機能⑥		図書室・講習室(訪問看護ステーション)		
機能⑥_面積		77㎡		
		100%		
機能⑦		調理講習室(ライオンズクラブ)		
機能⑦_面積		24㎡		
		100%		
機能⑧		集会室		
機能⑧_面積		31㎡		
		1%		
機能⑨		音楽室		
機能⑨_面積		37㎡		
		2%		
機能⑩				
機能⑩_面積				
機能⑪				
機能⑪_面積				
機能⑫				
機能⑫_面積				
機能⑬				
機能⑬_面積				
機能⑭				
機能⑭_面積				

(3) 福祉施設

羽幌町すこやか健康センターは、職員事務室の他には多目的ホールや研修室（診療室）等があり高齢者や乳幼児及びその保護者向けの福祉事業などに活用されています。一部稼働率の低い機能もありますが、住民ニーズに応じて、保健係、介護保険係、地域包括支援センター係による町民向けの事業数を増やす等により、稼働率を向上していく必要があります。天売・焼尻高齢者支援センターやデイサービスセンターには、介護予防や地域支援事業のための機能があり、稼働率も高い状況です。

表 2. 1. 6 福祉施設

施設番号	1054	1151	1048	1125
大分類	福祉施設	福祉施設	福祉施設	福祉施設
中分類	その他福祉施設	老人福祉施設	老人福祉施設	老人福祉施設
施設名	羽幌町すこやか健康センター	焼尻高齢者支援センター	羽幌町デイサービスセンター	天売高齢者支援センター
所管部課	福祉課	福祉課	福祉課	福祉課
主な利用者層	町内の乳児から高齢者が利用	高齢者が利用	高齢者が利用	高齢者が利用
機能①	職員事務室	介護予防施設	介護予防施設	介護予防施設
機能①_面積		73㎡	174㎡	561㎡
		100%	99%	99%
機能②	多目的ホール	職員事務所	地域支援事業施設	職員事務所
機能②_面積		99㎡	59㎡	150㎡
		61%	100%	100%
機能③	研修室(診察室)	福祉用具展示室	職員事務所	福祉用具展示室
機能③_面積		101㎡	14㎡	39㎡
		36%	100%	100%
機能④	栄養指導室			
機能④_面積		69㎡		
		10%		
機能⑤	談話室			
機能⑤_面積		52㎡		
		27%		
機能⑥	生活リハビリ室			
機能⑥_面積		117㎡		
		61%		
機能⑦	療育相談室			
機能⑦_面積		100㎡		
		79%		
機能⑧	相談室			
機能⑧_面積		16㎡		
		20%		
機能⑨				
機能⑨_面積				
機能⑩				
機能⑩_面積				
機能⑪				
機能⑪_面積				
機能⑫				
機能⑫_面積				
機能⑬				
機能⑬_面積				
機能⑭				
機能⑭_面積				

第2節 老朽化などの状況（公共施設）

2. 2. 1 公共施設の老朽化

羽幌町が保有する公共施設は、1960年代後半から1970代前半に建てられた施設が多く、平成27年（2015年）時点で建設後30年以上経過している施設が約56%あり、10年後には約71%に増加するため、老朽化の進行による安全性の低下が懸念されます。

図2.2.2や図2.2.3は既に建物や設備の老朽化が進行している事例です。図2.2.2は外壁の老朽化により、外装モルタルが剥がれている状況を示しています。もし外装モルタルが剥落した場合、歩行者の人命に影響を及ぼす危険性があります。また図2.2.3は屋外に設置された引込開閉器盤の老朽化状況です。盤の老朽化により腐食、破損しており、このような事象を放置していると、漏電による火災などの重大な設備事故につながる危険性があります。

これらの事故を未然に防ぐため、また次世代への改修費用の先送りを回避するためには予防保全的な維持管理や計画的な改修を実施する必要があります。

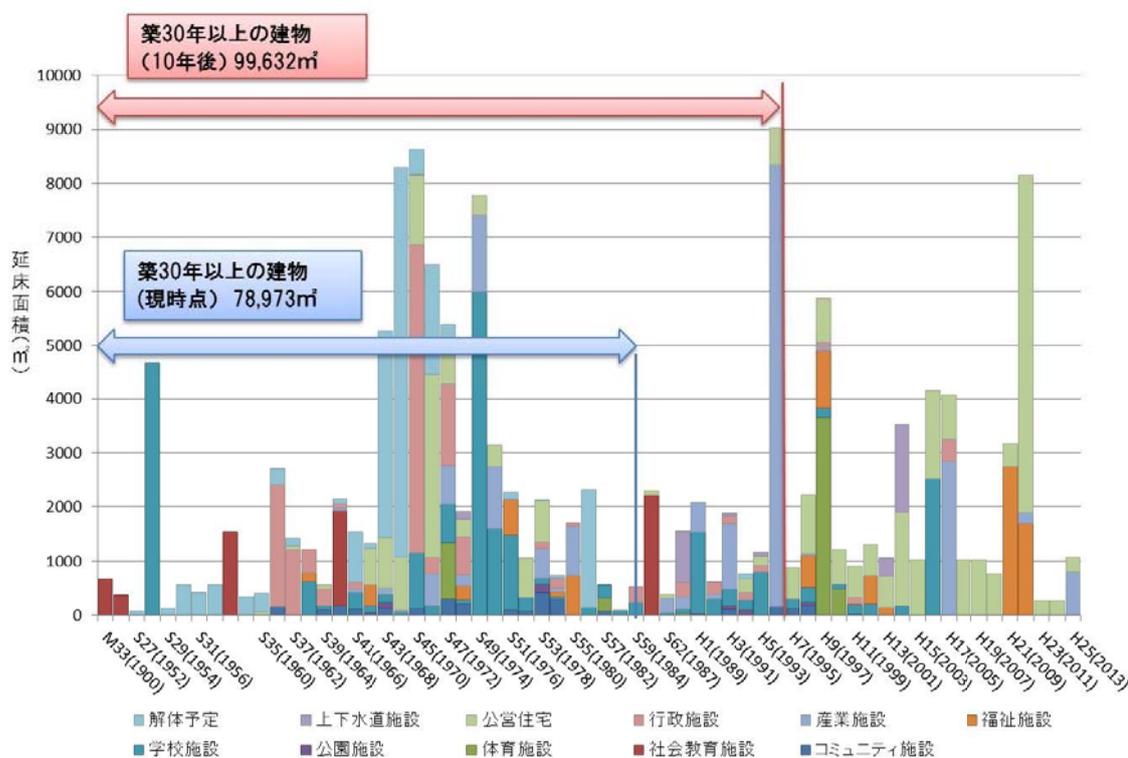


図2.2.1 用途別建設年別の延床面積の状況



図 2. 2. 2 外壁の劣化状況（中央公民館旧館）



図 2. 2. 3 引込開閉器盤の劣化状況（老人福祉センター）

2. 2. 2 公共施設の耐震化

新耐震設計法が導入された昭和56年（1981年）以前に建設された公共施設は、旧耐震基準により建設されており、十分な耐震性能を有していない可能性があるため、耐震診断による耐震性能の確認が必要となります。

また耐震診断の結果、十分な耐震性能がないと判断された場合は耐震改修等の対策が必要となります。羽幌町の公共施設は旧耐震基準により建設され対策が必要な建物が約43%と半数近くを占め、今後早急に耐震化を図っていく必要があります。特に災害時の避難所として指定されている公共施設は、有事の際の利用も想定されることから対策が急務です。

表2. 2. 1は耐震改修促進計画の対象建築物の耐震化状況を、表2. 2. 2は耐震対策が未了の避難所施設を示しています。建替計画のある羽幌小学校を除くと、役場庁舎や中央公民館（旧館）などの重要施設が必要な耐震性能を有していない可能性があり、大地震時に人命に影響を及ぼすような被害を与える危険性があります。また各地区の集会所などのほとんどが耐震性の確認ができていないものが多いため、継続して利用する施設については耐震診断および耐震改修等の対策が必要となります。

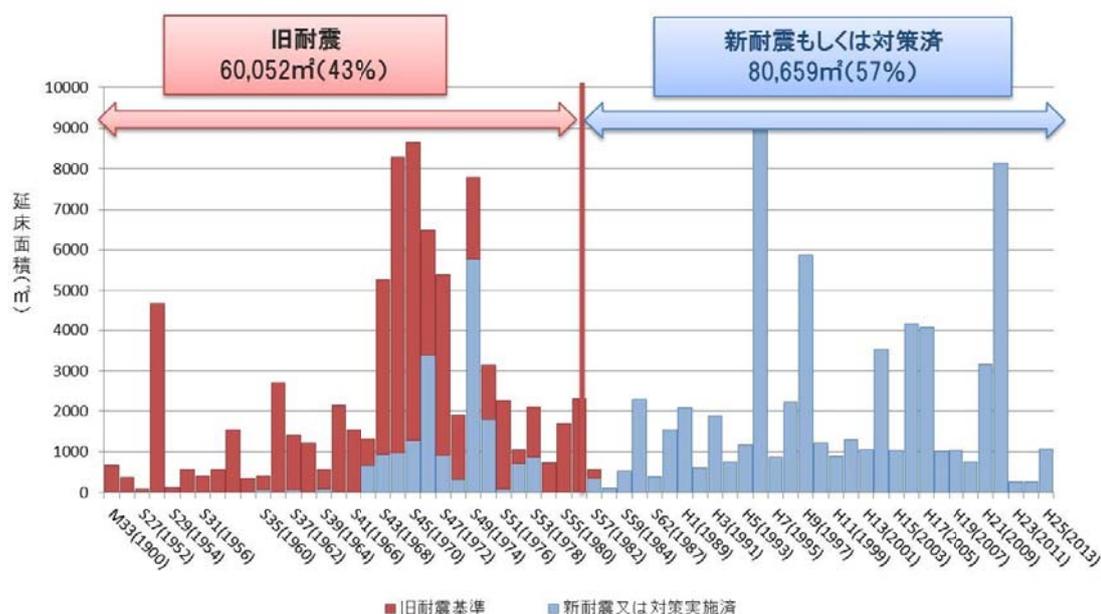


図2. 2. 4 耐震化の状況

表 2. 2. 1 耐震改修促進計画の対象建築物の耐震化状況

No	施設番号	施設名	用途	構造	階数	延床面積(m ²)	建築年	耐震診断	耐震改修	備考
1	1033	羽幌小学校	学校	CB造	地上2階	4,677.24	昭和28年(1953年)	未了	未了	
2		羽幌小学校体育館	学校	SRC造	地上2階	1,248.32	平成元年(1989年)	不要	不要	
3	1034	羽幌中学校	学校	RC造	地上3階	5,405.00	昭和49年(1974年)	済	済	
4		羽幌中学校体育館	学校	鉄骨造	地上2階	1,429.00	昭和50年(1975年)	済	済	
5	1148	焼尻中学校	学校	鉄骨造	地上2階	1,043.46	昭和51年(1976年)	未了	未了	
6	1117	天売小中学校	学校	鉄骨造	地上2階	1,834.23	平成16年(2004年)	不要	不要	
7	1020	中央公民館	集会所	SRC造	地上3階	2,219.02	昭和61年(1986年)	不要	不要	
8		中央公民館(旧館)	集会所	RC造	地上3階	1,628.68	昭和39年(1964年)	未了	未了	
9	1076	役場庁舎	事務所	RC造	地上4階	4,519.36	昭和45年(1970年)	未了	未了	
10	1060	サンセットプラザはぼろ	ホテル	SRC造	地上7階	7,445.20	平成6年(1994年)	不要	不要	
11	1026	総合体育館「パワデール」	体育館	SRC造	地上2階	3,512.50	平成9年(1997年)	不要	不要	
12	1094	栄町夕陽ヶ丘団地1号棟	共同住宅	RC造	地上5階	2,616.60	昭和57年(1982年)	不要	不要	
13	1094	栄町夕陽ヶ丘団地2号棟	共同住宅	RC造	地上5階	2,583.60	昭和57年(1982年)	不要	不要	
14	1025	羽幌町武道館	武道館	鉄骨造	地上1階	1,046.40	昭和46年(1971年)	未了	未了	

出典：「羽幌町耐震改修促進計画」より

表 2. 2. 2 耐震対策が未了の避難所施設

No	施設番号	施設名	用途	構造	階数	延床面積(m ²)	建築年	耐震診断	耐震改修	備考
1	1047	羽幌保育所	保育園	木造	地上1階	388.80	昭和42年(1967年)	未了	未了	
2	1004	幸町南集会所	集会所	木造	地上1階	79.32	昭和53年(1978年)	未了	未了	
3	1049	羽幌町老人憩いの家	集会所	木造	地上2階	299.70	昭和55年(1980年)	未了	未了	
4	1033	羽幌小学校	学校	CB造	地上2階	4,677.24	昭和28年(1953年)	未了	未了	再掲
5	1025	羽幌町武道館	武道館	鉄骨造	地上1階	1,046.40	昭和46年(1971年)	未了	未了	再掲
6	1017	南町集会所	集会所	木造	地上1階	103.74	昭和51年(1976年)	未了	未了	
7	1002	栄町南集会所	集会所	木造	地上1階	79.32	昭和52年(1977年)	未了	未了	
8	1019	北町集会所	集会所	木造	地上1階	132.20	昭和45年(1970年)	未了	未了	
9	1011	川北地区青少年育成センター	集会所	木造	地上2階	170.62	昭和53年(1978年)	未了	未了	
10	1016	幸陽館	集会所	木造	地上1階	66.11	不明	未了	未了	
11	1007	寿町集会所	集会所	木造	地上1階	79.32	昭和54年(1979年)	未了	未了	
12	1006	寿生活改善センター	集会所	CB造	地上1階	195.00	昭和47年(1972年)	未了	未了	
13	1014	中央集会所	集会所	鉄骨造	地上1階	126.06	昭和43年(1968年)	未了	未了	
14	1018	平集会所	集会所	CB造	地上1階	115.7	昭和41年(1966年)	未了	未了	
15	-	上羽幌集会所	集会所	木造	地上1階	39.62	昭和40年(1965年)	未了	未了	
16	1005	高台地区集会所	集会所	木造	地上1階	98.34	昭和38年(1963年)	未了	未了	
17	1013	築別集会所	集会所	CB造	地上1階	198.7	昭和48年(1973年)	未了	未了	
18	1051	築別老人寿の家	集会所	木造	地上1階	137.29	昭和54年(1979年)	未了	未了	
19	1010	上築西集会所	集会所	木造	地上1階	99.15	昭和47年(1972年)	未了	未了	
20	1020	上築中央集会所	集会所	木造・CB造	地上1階	203.14	昭和36年(1961年)	未了	未了	
21	-	上築東集会所	集会所	木造	地上1階	39.66	昭和43年(1968年)	未了	未了	
22	1008	曙生活館	集会所	CB造	地上1階	198.41	昭和51年(1976年)	未了	未了	
23	1114	天売へき地保健福祉館	福祉館	CB造	地上1階	167.58	昭和40年(1965年)	未了	未了	
24	1137	天売総合研修センター	集会所	CB造	地上1階	311.73	昭和46年(1971年)	未了	未了	
25	1124	天売ちびっこランド	児童館	木造	地上1階	158.9	昭和48年(1973年)	未了	未了	
26	-	焼尻生活館	生活館	CB造	地上1階	132.42	昭和51年(1976年)	未了	未了	
27	1162	焼尻総合研修センター	集会所	CB造	地上1階	623.84	昭和45年(1970年)	未了	未了	
28	1144	焼尻へき地保健福祉館	福祉館	木造	地上1階	166.09	昭和40年(1965年)	未了	未了	
29	1147	焼尻小学校	学校	鉄骨造	地上2階	1,043.46	昭和51年(1976年)	未了	未了	

出典：「羽幌町耐震改修促進計画」より

※備考欄の再掲は表 2. 2. 1 に掲載している施設を示します。

※施設番号が「-」の施設は解体予定施設を示します。

2. 2. 3 公共施設の社会的要求への対応状況

(1) アスベスト⁷対策の状況

飛散性が高く、施設利用者の人体に影響を与える可能性が高いと言われているアスベスト含有吹付け材については、直接目視により確認できない天井裏などの隠ぺい部分を除いて、撤去が完了しており、残存が確認できているアスベスト含有吹付け材は、漁村環境改善センターのボイラー室のみであり、当該室は入室禁止となっています。（建設水道課建築係報告より）

(2) バリアフリー対策⁸の状況

羽幌町では、不特定多数の方が利用する施設のバリアフリー対策を進めてきていますが、対策不要な施設を除いて、対策未了の建物棟数（未了の割合）は、敷地から建物入口へのスロープ未設置が167棟（39%）、車椅子対応エレベータ未設置が30棟（7%）、多目的トイレ未設置が195棟（46%）、建物の主要出入口への自動扉未設置が233棟（55%）、主要出入口への点字ブロック未設置が228棟（54%）となっています。これらの施設の中で継続的に利用する施設については、建替や大規模改修に合わせて対策を進めていく必要があります。

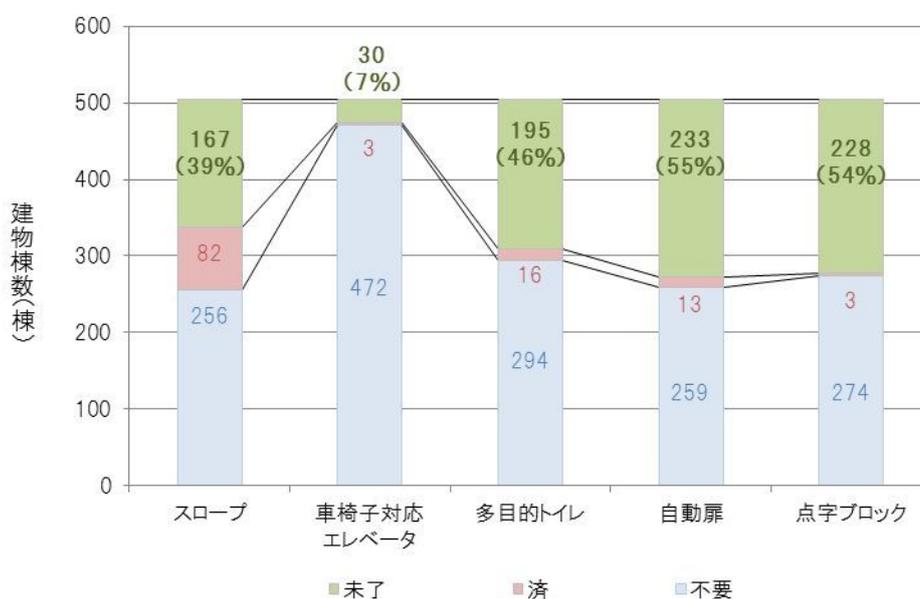


図 2. 2. 5 バリアフリー対策実施状況

⁷石綿（アスベスト）は、天然に産する繊維状けい酸塩鉱物で「せきめん」「いしわた」と呼ばれています。その繊維が極めて細いため、施設での使用や飛散しやすい吹付け石綿などの除去等において所要の措置を行わないと石綿が飛散して人が吸入してしまうおそれがあります。

⁸公共施設のスロープや手すり、点字ブロックの設置や車いす利用者用トイレの設置などの対策を示します。

（3）避難所等の防災対策の状況

『羽幌町 防災のしおり』（平成23年1月作成）によると、羽幌町では北海道日本海沿岸北部の津波など大規模災害発生時に避難者を収容するために、39か所の公共施設を避難所に指定しています。（そのうち2施設は廃止施設であり、1施設は道の施設であるため現用の町有施設としては36か所となります。） これらの施設の中で停電時に発電機等により電源を確保できる施設は天売小中学校と焼尻総合研修センターの2施設のみであり、その他の施設については停電時の電源確保が不可能な状況なため、改修や建替の時期に合わせて停電対策を進めていく必要があります。

（4）再生可能エネルギーの導入状況

羽幌町では、これまでもエコアイランド構想実証プロジェクトとして、天売支所や天売港フェリーターミナル、天売小中学校において小型風力発電や太陽光発電などの再生可能エネルギーの実証実験を行うなど、積極的に自立・分散型エネルギー⁹の確保に向けた取組みを進めてきました。平成26年（2014年）4月には羽幌町エコアイランド構想を立ち上げ、その中で、防災拠点等の公共施設において再生可能エネルギーの活用を図り、当該施設の自立等に努める取組方針が示されており、大規模改修や建替に合わせて再生可能エネルギーの導入も進めていく必要があります。



図 2. 2. 6 天売小中学校（校舎裏）への再生可能エネルギー導入状況

⁹災害時等に電力会社の系統からの電力供給が停止した場合においても、自立的に電力を供給・消費できるエネルギーシステムを示します。

第3節 保有状況（インフラ）

2.3.1 道路

『道路管理調書』（平成26年3月26日）による道路の実延長と道路面積は以下のとおりです。

表2.3.1

種別	実延長	道路面積
一般道路	182,006m	1,200,680 m ²
自転車歩行者道	48,834m	145,459 m ²

2.3.2 橋りょう¹⁰

『道路管理調書』（平成26年3月26日）等による実延長と橋りょう面積は以下のとおりです。

表2.3.2

橋りょうの数	実延長	橋りょう面積
64個	1,663m	9,420 m ²

2.3.3 上水道

『水道管路延長』（平成26年7月22日更新）による管路種別の延長は以下のとおりです。

表2.3.3 管路種別延長

管路種 ¹¹	市街	天売	焼尻	管路種 計
導水管	1,475m	0m	333 m	1,808 m
送水管	6,305 m	2,583m	2,839 m	11,727 m
配水管	125,688 m	5,610m	8,108 m	139,406 m
地域 計	133,468 m	8,193 m	11,280 m	152,941 m

2.3.4 下水道

『下水道管渠整備（供用開始告示面積）』（平成26年3月6日）による下水道の全体計画延長と延長、進捗率は以下のとおりです。

表2.3.4

全体計画延長	延長	進捗率
61,333m	55,679m	90.78%

¹⁰橋のことで、道路・鉄道・水路などが障害物などの上空を通過するための架空構造物を総称するが、狭義では、水面上を通過するための架空構造物を意味し、陸上部を通過するための架空構造物である高架橋と区別して用いられることもあります。

¹¹導水管は井戸からくみ上げた原水を各浄水場へ運ぶ管を、送水管は浄水場から配水池へ水を送る管を、配水管は配水池から各家庭へ給水するために街路に埋設し、水を送る管を示します。

第4節 老朽化の状況（インフラ）

建設後50年を経過する老朽化した橋りょうの割合は平成25年（2013年）時点では約8%程度ですが、30年後の平成55年（2043年）には80%以上と、今後老朽化が急速に進行する恐れがあることから、計画的な整備が必要な状況です。（「羽幌町の橋梁長寿命化修繕計画」による）

上水道管の延長は市街、天売島及び焼尻島を合わせて、導水管：1,808m、送水管：11,727m、配水管139,406mであり、平成27年（2015年）時点で30年以上経過した水道管は約35%程度ですが、今後10年間でその割合は73%以上と、上水道管も今後老朽化が急速に進行する恐れがあることから、計画的な整備が必要な状況です。

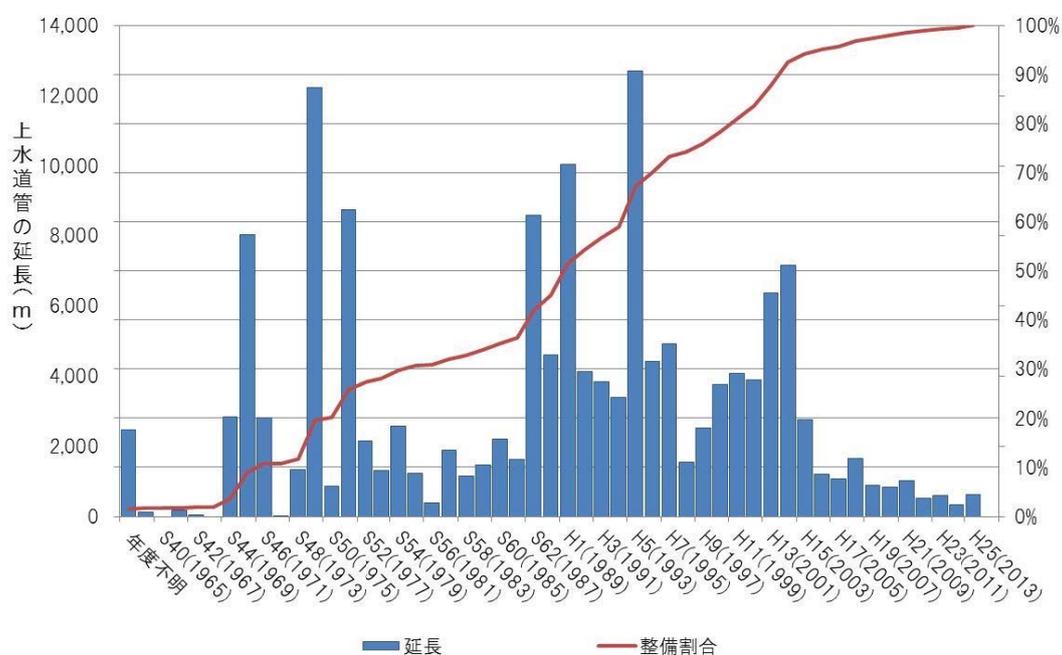


図2.4.1 上水道の整備年と延長の推移